

平成 19 年度第 4 回(通算第 37 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	木二会
開 催 日 時	平成 1 9 年 6 月 2 7 日 (水) 正午 ~ 午後 1 時
開 催 場 所	市長応接室
出 席 者	木二会 8 人 (能代市:市長、地域情報課長)
案 件	入札への参加について 他
会議の概要 (主な発言)	<p>(...木二会の皆さん ...市長)</p> <p>1 入札への参加について 小規模で、「格付け」等で市の入札に参加したことがない者が多い。しかし市民として、自らの技術等で市に協力できればと思っている。 小規模業者でも市事業等に参加できる方法の検討をお願いしたい。 入札参加には、「物品等指名競争入札等参加資格申請書」を提出し、業者登録しないと、参加資格が得られない。その登録が困難な小規模業者には、「小規模修繕等契約希望者登録」がある。 11 業種の修繕で 1 件の金額が 50 万円未満のものが対象。登録業者に順番に廻すシステム。</p> <p>2 市政への参画について 市施策を計画等する際、市民の意見を吸い上げる場がほしい。 今後、市の政策などの計画段階で積極的に意見を出したいが、機会はあるか。 総合計画の一次素案作成中だが、意見を広く市民から募集する。この機会に委員への立候補や提言等を。各種計画作成でも、市民の意見を伺っている。 今後も各部門で市民の意見を伺いながら進めたい。広報やホームページ等で周知・募集するので積極的に参加を。この「ランチで対話」などで、直接対話することも方法の一つ。</p> <p>3 その他 テレビで、理・美容室が中心となり、独身者達に組織的に結婚を勧める活動に取り組み、結果出生率が上がった石川県の例が紹介された。希望者で同様の組織を作り結婚を促す活動の施策を考えては。 先日理容師組合の大会で、理事長とその話をし、組合での活動を検討してもらっている。庁舎内にもチームを作り、「出会いの場」の企画団体に対する応援等プログラム・プランを検討中。</p> <p>「木都」と P R するも、木材が見えない。能代も二ツ井も「杉のまち」。もっと外にアピールする行動はできないか。 「木都」らしさは、「木が見える」「木の香りがする」「木材での産業興し」という三点が大事。「見える」では、公共施設はできるだけ木造を心がける。若者の定住化促進を図る「住吉住宅」は可能な限り木質化を図り、改築の「四小」や「二ツ井小」は木造設計で、学校の木造化率はたぶん日本一。「香り」では、街並みに木が見えることが大事。製品・製材の木材産業活性ももちろん必要だ</p>

が、街中の木も大事。

おみやげ屋が少なく、外から来た人は分からない。また、観光・主要施設案内板を3方の市の入り口に小スペースを作り設置しては。

おみやげ屋は、駅前通り空き店舗対策で検討したが、需要の見通しが立たたず。「道の駅」構想も可能性はある。構想を練る場合は市民の意見を募る。「観光・主要施設案内板」は同感。

カラス対策で、ごみ集積所へ設置する箱等(自治会毎に独自設置)を市で斡旋できないか。

後日「市では、製品紹介はするも斡旋はせず。各自治会主体でお願いする」旨文書で回答

現在墓地を持たない者に、宗派等無関係の市営墓地等設置の予定は。

後日「新市営墓地の予定はなし。空きが生じた場合は公募し抽選する。」旨文書で回答

TDKのような誘致企業を。

誘致企業は、夏頃2企業の進出は決まり準備中。当初雇用20人程度だが、順次拡張する意向。

若者が安心して結婚・出産できる職場環境づくりを念願し、そのためにリサイクルポート指定を受け、中間処理企業の検討もしている。リサイクルポート事業は能代から鹿角小坂地域まで、米代川周辺地域全体で展望できる事業。

地元の発展企業にも誘致企業並の優遇措置を。

地元企業でも状況に応じて優遇措置を適用できるよう制度改正など図っている。遠慮なく相談を。

民間の若い世代の意見・発想を取り入れる機会がほしいと切実に思う。皆、能代をよくしたいという基本的考えは同じなので…。

意見や提言はいつでも受けたい。遠慮なく出してほしい。

ほか、三面球場トイレの整備、広域合併の可能性、市役所職員によるバスケットチーム結成の可能性など。